



公立大学法人 和歌山県立医科大学

学部案内 2022

- 保健看護学部
- 大学院保健看護学研究科 博士前期課程／博士後期課程
- 助产学専攻科



大学の教育理念

和歌山県立医科大学は、医学、保健看護学及び薬学に関する基礎的、総合的な知識と高度で専門的な学術を教授研究するとともに、豊かな人間性と高邁な倫理観に富む資質の高い人材を育成することにより、和歌山県の医療、保健の充実を図り、もって文化の進展と人類の健康福祉の向上に寄与する。

1804年、医聖華岡青洲が、曼陀羅華を主成分とする麻酔薬「通仙散」を完成させ、乳がん摘出手術を成功させました。



新しいことに挑戦する心を常に持ち、既存の知識や技術を発展させることができる医療人を目指しませんか。

沿革

平成8年4月 和歌山県立医科大学看護短期大学部開学

平成16年4月 保健看護学部開設

平成19年3月 看護短期大学部閉学

平成20年4月 大学院保健看護学研究科修士課程及び助産学専攻科開設

平成25年4月 大学院保健看護学研究科博士後期課程開設

平成26年4月 大学院保健看護学研究科がん看護専門看護師コース開設

contents

大学の教育理念・沿革	1	大学院保健看護学研究科教育プログラム	18
学長・学部長メッセージ	2	大学院生メッセージ	20
保健看護学部教育プログラム	3	助産学専攻科教育プログラム	21
キャンパスカレンダー	12	助産学専攻科修了生メッセージ	23
キャンパスライフ	13	学生サポート	24
クラブ紹介	15	取得できる学位・資格	25
社会で活躍する卒業生	17	三葛キャンスマップ	26



医療系総合大学で看護の未来を学ぼう

本学の保健看護学部は、平成16年4月に医学部に次ぐ2つ目の学部として誕生しました。令和3年4月には3つ目の学部として薬学部が開設され、本学は、医・看・薬の3学部を擁する医療系総合大学となりました。3学部相互の連携を図りながら、より良質な教育を展開していきたいと思います。

全国で300近い4年制看護系大学の中で、本学の「保健看護学」を冠した学部はごく少数です。これには、看護の未来への期待として、医療の現場での質の高い看護はもちろんのこと、広く地域の場で疾病予防や健康支援に資する看護という意味を込めて「保健看護」なる名称がつけられています。

全国看護系大学共通の学士教育標準である「看護教育モデル・コア・カリキュラム」（平成29年公表）において、「地域医療構想に基づく医療提供体制の構築と地域包括ケアシステムの構築により、地域におけるヘルスプロモーションや予防も含め、その役割や活動場所の多様化が進む中で、看護者には、様々な場面で人々の身体状況を観察・判断し、状況に応じた適切な対応ができる看護実践能力が求められている」と、私たちの学部が開学時の精神に込めた同様の趣意が述べられています。

平成20年には、助産学専攻科及び保健看護学研究科修士課程が、平成25年には博士課程が設置され、教育内容の充実とより専門性の高い教育の実践に基づく高度医療人育成が展開されています。

医・看・薬の3学部合同でのケアマインド教育等を通じてこれからの看護に求められる豊かなこころを涵養し、医療系総合大学ならではの充実した教育スタッフのもとで看護の未来を本学保健看護学部でぜひ一緒に学びましょう。



和歌山県立医科大学
学長 宮下和久

輝く保健看護職へのマイルストーン

保健看護職への道程は、保健看護の基礎教育から始まります。

保健看護学部は、人々の生活に焦点を当て、保健・医療・福祉を包括的に学ぶようになっています。生活に焦点を当てるということは、人々の生活の質をいかに高めるかに大きな価値を置いています。生活習慣病が増えている状況では、人々が病気や障害をもちながらも、いかに有意義な生活を送るかが重視されてきてています。保健看護職は、健康の大切さを自覚し健康的な行動をするように保健指導をしますが、その際は、全人的な理解が要諦です。このために、保健看護学部は教養・基礎教育も充実しています。

保健看護学部は、1996年に開学した看護短期大学部を前身として、2004年に開学しました。以来、人間の理解を深め、人々の健康を支援するための基礎を教育し、問題解決能力、判断力、研究能力を高める専門的な教育も行い、数多くの保健看護職者を輩出できました。その多くは、関西地域を中心に、看護師として病院で、あるいは保健師として都道府県や市町村、企業で活躍しています。また、養護教諭として学校で子ども達の健康管理に努めている方もいます。

保健看護職者の更なる展開として、高度臨床実践者、教育者、研究者があります。そこで、2008年に保健看護学研究科博士前期課程（修士課程）と助産学専攻科を開設し、2013年に博士後期課程（博士課程）を開設、また、2014年には博士前期課程の中にがん看護専門看護師コースを開設し、開学から10年間で保健看護職者への道程を確立できました。

輝ける保健看護職者への最初のマイルストーン（中間目標地点）として、保健看護学部において学生一人ひとりが充実した学生生活を送る中で、豊かな人間性と主体性を育み、協調性に富む保健看護職者を育てていきたいと思います。



保健看護学部
学部長 森岡郁晴



教育理念

豊かな人間性、高邁な倫理観を育み、先進的、高度な専門的知識と技術を教授し、科学・技術の進展と、健康・福祉に関する社会の要請に柔軟かつ創造的に対応でき、保健看護の実践、教育、研究など広い分野での活躍が期待できる資質の高い人材を育成します。

教育目標

生命の尊厳と 幅広い教養を基盤にした 豊かな人間性と 高邁な倫理観の涵養

人を慈しみ、生命を愛し、人々の健康と幸せを支援することができるよう、基礎的知識・技術を学び、豊かな人間性と教養を兼ね備えた資質の高い人材を育てます。

種々の関連職種と チームワークができる 協調性に富む人材の育成

保健、医療、福祉の総合的な視野を持ち、種々の関連分野の人々と連携・協力して、全体を調整、管理できる能力を育てます。

個人を尊重し、 全人的理解と信頼関係を築く、 優れたコミュニケーション 能力の育成

住民とのふれあいを重視し、社会で生活する人間の理解を深め、人に学びながら、多様な情報を捉え、適切な判断ができる能力を育てます。

生涯にわたり自己啓発し、 社会の多様なニーズに 対応できる人材の育成

4年間の一貫教育の中で、自主性・主体性を育み、多様化する社会のニーズに柔軟に対応でき、新しい看護を切り拓いていく人材を育てます。

科学的思考力、 高度な専門的知識と 技術に基づいた実践力と 創造力の育成

医療の高度化、専門化に対応できる洞察力、判断力、実践力を身につけ、保健・医療・福祉の担い手となる人材を育てます。





アドミッションポリシー (入学受入方針)

- 科学的探究心と豊かな人間性・高邁な倫理観を希求する人
- 保健看護学を修得するための幅広い能力を有する人
- コミュニケーション能力と指導力を備えた協調性の高い人
- 地域医療に关心があり、国際的視野を希求する人
- 生涯にわたって自立と自律をめざす人

カリキュラムポリシー (教育課程方針)

- 社会人として必要な教養とともに、医療人として必要な倫理観、共感的態度、コミュニケーション能力、ケアマインドが育成できるよう、早期体験や医療福祉施設での参加型学習による教育
- 保健看護に必要な自然科学、人文・社会科学および外国語に関する教養を修得できる教育
- 保健看護の基盤となる領域において、系統的に生体の構造と機能、病態、疾患の概念が理解できるとともに、問題解決型能力と看護方法および研究的思考を育成できる教育
- 保健看護の専門となる領域では、習得した看護の基礎を実際に活用・実践する技能を修得できる教育
- 臨地実習では、全ての領域を実習するとともに学内外で実習を行い、看護実践能力を含めた保健看護の力を獲得できる教育
- 地域との交流および国際交流を積極的に行い、広い視野を養い、地域社会および国際社会で活躍できる人材を育成できる教育



ディプロマポリシー (学位授与方針)

- 幅広い教養を身につけ、多様な文化や価値観を理解し、人々の尊厳や権利を尊重することができる
- 看護の対象となる人々と信頼関係に基づくコミュニケーションや援助関係を築くことができる
- 看護の対象となる人を、生活者として全人的に捉え、個人・家族や地域の健康課題を明らかにできる
- 看護実践に必要な知識や技術を習得し、根拠に基づく判断の上、これらを活用して健康課題の解決に取り組むことができる
- 保健医療福祉チームの一員として看護職間・他職種間・地域住民等との協働・連携を図るために主体的に行動できる
- 社会の動向とともに、地域的・国際的視野で多様な健康課題を捉え、看護の役割や課題を検討し、看護の発展に向けた創意・工夫ができる
- 看護専門職としての自覚を持ち、生涯にわたって主体的に自己研鑽や研究に取り組む自律的態度を身に附けている





カリキュラムの特徴

充実した教養、基礎教育

保健看護職には、全人的な人間の理解に基づいた人への思いやりや優しさが必要です。「教養と人間学の領域」では、学習意欲にあふれ、倫理的で思いやりのある人材を育て、豊かな人間性及び優れたコミュニケーション能力の育成を目的としています。個々の学生の様々な関心に対応できるように、選択履修科目を多数取り入れています。

人間理解を深め、人々の健康を支援するための基盤を形成

「保健看護学の基盤となる領域」では、保健看護学の土台となる「人間と生命倫理」「保健と福祉」「健康と病態」を学び、保健看護専門職の基盤を形成することを目的にしています。

問題解決能力、判断力、研究能力を育てる専門教育

人間を理解し、あらゆる状況に柔軟に対応できるために、洞察力、問題解決能力、判断力などを身につけることを目的としています。授業は、講義だけでなく、演習や実験、実習等を取り入れ、少人数による学習を積極的に取り入れ、体験的・自主的に学習できるように工夫しています。

保健・医療・福祉の包括的学習

人々の生活に視点を当て、保健・医療・福祉を包括的に学べるようにしています。実習では、暮らしを通じて学習できるように、病院のみでなく、保健センター、訪問看護ステーション、助産院、保育所、企業、介護老人保健施設などで実習できるようにしています。

医療入門（ケア・マインド教育） 1年次



医学部、薬学部の学生とともに患者・家族の立場から物事を考えられる視点を養います

基礎看護学演習 1年次



対象者が安全・安楽に診療を受けられるように、基礎的知識・技術を学びます

教養セミナー 1年次



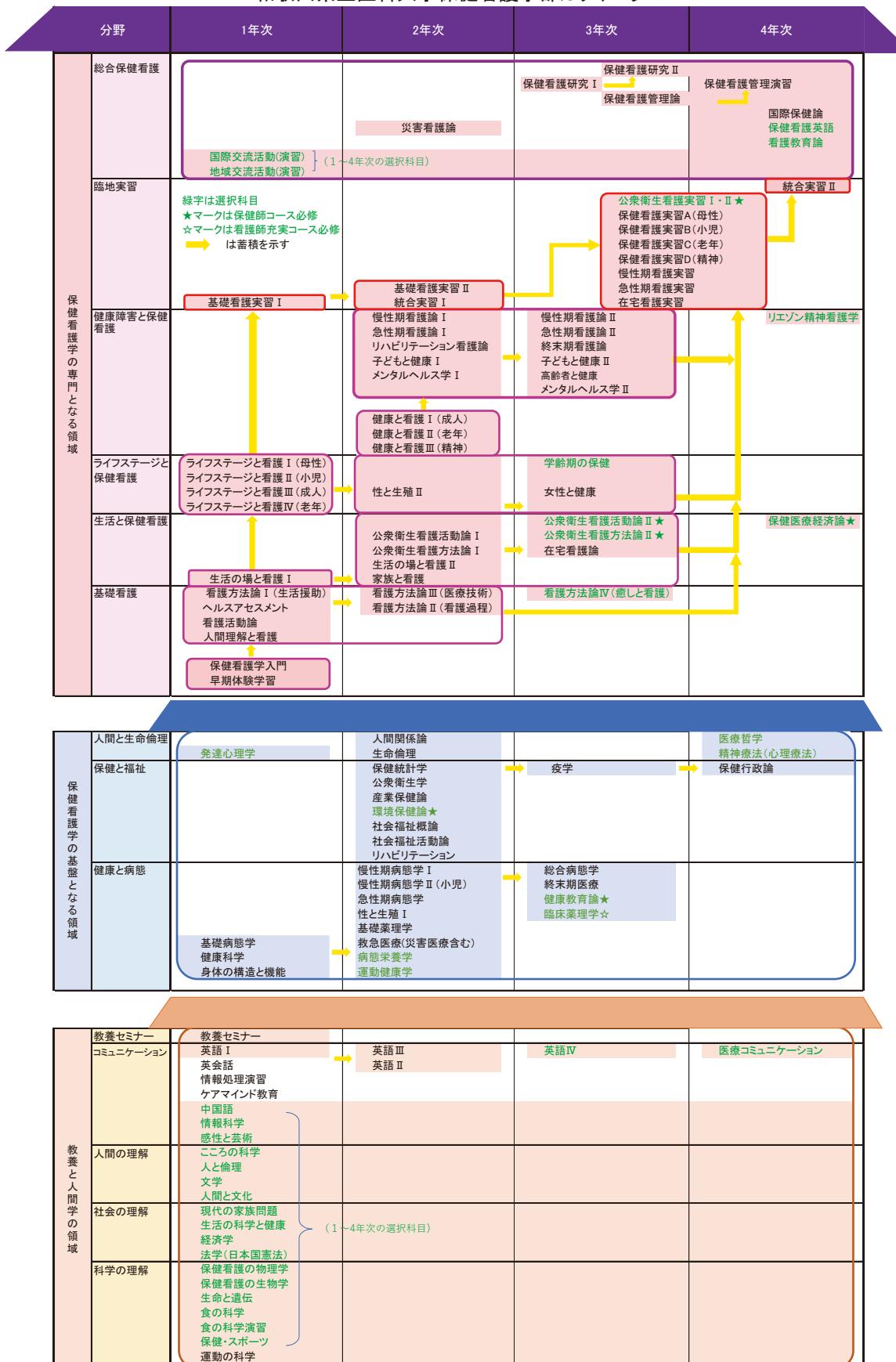
写真やキーワードから連想を広げ、自ら問題を発見し、情報収集と思考鍛錬を行う少人数ゼミです



授業科目

「教養と人間学の領域」「保健看護学の基盤となる領域」「保健看護学の専門となる領域」の3領域で構成され、専門分野の枠を超えた横断的・統合的な学習ができるようにしています。

和歌山県立医科大学保健看護学部カリキュラム





暮らしと健康との関連を学びます

地域の人々との交流から

早期体験学習 1年次



入学後の早期に、地域に出向いて、そこで生活している人々との関わりや様々な体験を通して、暮らしと環境について理解し健康との関連について学びます

統合実習I 2年次



地域で暮らす様々な発達段階にある人々の健康・生活を知り、健康・生活を守るために支援のあり方について学びます

【実習施設】

- ・保健所、市町村・保健センター
- ・子育て支援施設
- ・こども園・保育園
- ・小学校
- ・企業 等

保健師コースは、48名の学生がコース選択します。和歌山県内の保健所、市町村保健センターに出向いて、住民の生活や環境から健康問題を捉え、それを解決するための方法を考え、実践します。地域を歩いて回ったり、家庭訪問をしたりするので、保健師活動を実践的に学べ、とても楽しいです。学生たちで考えた健康講座は住民のみなさんに大変喜ばれ、とてもやりがいがあります。

コース選択を希望する学生が多いと、成績で選抜されるのですが、ぜひチャレンジして地域の視点を深く学んでほしいです。

公衆衛生看護実習 3~4年次

(保健師コース選択生のみ)



**保健看護実習A（母性）**

新生児と母親の命を守ります

保健看護実習B（小児）

子どもの成長・発達を支えます

保健看護実習C（老年）

人生の先輩から生き方を学びます

保健看護実習D（精神）

自己を知る事が心の看護の基本です

慢性期看護実習

療養生活を支える看護を学びます

急性期看護実習

術衣を着ると緊張感が走ります

看護を通して、人として成長します

在宅看護実習

自宅での療養を支えます

**和歌山県立医科大学附属病院を中心
に和歌山県内の医療・保健・福祉施設で学ぶ**



和歌山県立医科大学附属病院には、医学・保健看護学・薬学を学ぶ学生が医療を体験・習得する医療教育機関としての性格と、高度な医療技術と優秀な医療スタッフによる優れた医療を地域社会に提供する中枢的な医療機関としての役割があります。現代の高度な医療の進歩は目覚ましく、新しい医療の吸収と展開は、教育・研究を柱とする大学機関に附属する医療機関によってこそ可能です。常に優秀な人材の確保と医療システムの最適化を図り、広く地域社会に医療の還元を図ることが附属病院の使命です。

その他、和歌山県内の各施設が実習をサポート！

- ・和歌山県立医科大学附属病院紀北分院
- ・和歌山ろうさい病院
- ・ひだか病院
- ・南和歌山医療センター
- ・白浜はまゆう病院
- ・和歌山県立こころの医療センター
- ・和歌山県内の訪問看護ステーション、保健所、市町村保健センター
- ・児童福祉施設、老人福祉施設、障害者福祉施設、企業 等

統合実習II自ら計画を立て、実施した実習
の成果を発表します



交流し、人間性を高めます
課外活動を通して、異文化や多世代と

地域交流活動

地域の特性から住民の生活状態や健康問題を理解し、医療に対する住民のニーズを捉えます。ボランティア活動や本学独自の助成制度「学生自主カリキュラム」などの自主的な活動を通して、チームワークや行動力を養います。

大学が認定する地域交流活動に参加するとポイントが加算され、通算20ポイントを得た場合に単位を認定しています。

学生自主カリキュラム

学生が自らの自由な発想と意思で学びたい活動を計画し、生きた知識を獲得し、さらに学びを深めていくことを目的とした学習支援プログラムです。

○地域の高齢者に対するアドバンス・ケア・プランニング（ACP）の普及と啓発

私たちは、紀美野町長谷毛原地区の高齢者を対象に、アドバンス・ケア・プランニングをテーマに健康教育を行いました。紀美野町役場の保健師、地元診療所の医師や看護師、地域サロンの協力を得て、これまでの人生を振り返り、これから的生活や医療への希望を話し合いました。住民の皆様の思いに触れ、病いや老いとともに生きる人を支える看護のあり方を学ぶとともに、チーム医療に必要なコミュニケーションスキルや、学習する姿勢、リーダーシップなど多くを学ぶことができました。今後、病院や市町村で働く際、多職種連携によってよりよい活動ができるよう、今回の経験や学びを活かしていきたいです。



卒業生：尾中杏樺さん、新谷菜々さん、玉井大華さん、土山唯さん

○和歌山県の神社仏閣を巡り、産育儀礼を知る

産育儀礼とは、①安産祈願②初宮参り③七五三のことを言います。

私たちは、「和歌山県 安産祈願」と検索して挙がった神社を実際に訪問したほか、神主さん・住職さんへの対面・紙面でのインタビューの実施、通過儀礼や神社の歴史などの文献を用い、神社仏閣で行われる理由や、古来から医療がすすんでいる現在においても、妊娠婦・子育て中の親だけでなくお産に関わる職種の人が神社仏閣に参拝する理由を研究しました。今回は日本の産育儀礼について焦点を当てて研究を行いましたが、将来私たちが働くうえで関わるのは日本人だけではないため、世界ではどのような習慣があるのかも興味が湧きました。普段とは違った角度から神社仏閣を訪問し、母子保健の座学では触ることの少ない部分を学ぶことができました。

卒業生：井戸涼葉さん、佐藤理子さん、中野紗彩さん、古川千菜美さん

令和元年度学生自主カリキュラムのテーマ

- ・沖縄の離島における医療の現状と看護職の役割を学ぶ
- ・助産師になりたい私たちの夢と覚悟を形成する
～エネルギーッシュな開業助産師に学ぶ～
- ・和歌山県のへき地医療について知る
- ・和歌山県のへき地における保健師と住民とのかかわり
- ・看護系大学生の学年別にみたペットボトルの汚染意識の状況
- ・和歌山県各市町村における飲食店の禁煙状況と地域特性との関連
- ・重度精神障害を持つ人への地域生活継続支援のあり方と看護師の役割



看護学生フォーラム

看護学生フォーラムは、和歌山県内で11校の看護学校の学生が集まり、学習と交流を目的として年に1回開催されており、看護学生フォーラム委員が主体となり、企画、準備、実施までを行っています。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により12月にオンラインで開催しました。フォーラムに向けてリモートで会議を重ね、各校と協力し準備に取り組みました。第18回である今回のテーマは、「コロナに負けるな。深めよう私たちのつながり」としました。前半は、自粛生活で疲弊した心身を癒すため、飛騨千光寺住職である大下大圓先生に瞑想法の実践を交えた講義をしていただきました。これから看護師として成長していくうえで、自身で心身のケアを行えるよう瞑想を習慣化しようと思いました。後半では、学校ごとに3つのグループに分かれ、様々な形式で出題される医療クイズにメンバーと協力して答えを導き出しました。グループ単位で正解数を競い合い、他校の実力を目の当たりにし、刺激をもらえた良い機会となりました。



この活動を通して、新たな試みに挑戦する姿勢や連携の大切さを学びました。また、参加者をまとめ、各校の委員と同じ考えのもと行動する難しさや、自分の考えを相手に伝える難しさも学ぶことができました。会議からフォーラムまですべてオンラインで開催したので、大変さを感じることはありましたが、学べたことが多く、成長することができたので、参加してよかったです。

令和3年度看護学生フォーラム委員：半井絢萌さん、池永奈穂さん、服部生菜さん、東茉奈花さん

国際交流活動



教育・研究両面で活発な交流

<主な協定状況>

昭和61年 山東大学（中国） 学術交流

平成16年 山東大学（中国） 学生交流

平成18年 本学に国際交流センターを設置

マヒドン大学（タイ） 学術交流・学生交流

平成19年 香港中文大学 学術交流・学生交流

平成25年 ブラバ大学（タイ） 学術交流・学生交流

平成28年 ヤンゴン看護大学（ミャンマー） 学術交流

☆山東大学（中国）と香港中文大学とは協定を締結して以来、両大学の学生が相互に訪問し、積極的に交流しています。

アメリカ糖尿病キャンプには毎年4名の学生を派遣しています。

アメリカ糖尿病キャンプでの研修に参加して

日本の生活とは異なる文化で生きる人々と関わることで、目の前の人を理解する姿勢や自分の固定観念にとらわれない大切さなどを学びました。また、日本とアメリカにおける医療の違いや最先端の糖尿病治療、子どもたちがどのように病気と向き合い、生活を送っているのかなど、学校では学ぶことができない貴重な体験をさせていただき、参加してよかったです。

本学では自分の学びたいことを先生方のサポートのもと柔軟に取り組むことができます。みなさんも本学での学生生活で様々なことにチャレンジしてみてください。

卒業生：井上ゆなさん 岩根朱里さん



香港中文大学学生茶道体験



地域社会に貢献できる人材を育成します

保健看護研究Ⅱ（3年次後期～4年次）

日常や看護の素朴な疑問や関心を研究課題とします。観察力と着想、その課題に最もふさわしい研究手法の選択、研究計画書の作成、実施など、研究のプロセスを学びます。

さらに、1年かけて取り組んだ研究の成果を学内で発表します。国内外の学術学会で発表し、論文を学術雑誌に投稿することも大切です。研究成果を世に公表して、看護学の発展につながるような価値ある研究を進めていきます。



先生方の専門領域はそれぞれ異なり、自分の興味や関心のある先生のもとで、ゼミ研究を行います。

3～4人のグループで、自らテーマを選定し、疑問に思ったことや理解を深めたいことを探求していきます。



岩根ゼミでは、手浴の効果を研究しています。手を温めることが私たちの身体にどのような影響があるかを調べています。実験環境を整えることが難しく大変ですが、自分たちの研究が看護に役立つ可能性があるので、とてもやりがいがあります。

大学運営に学生が積極的に参画

学生たちの若い力と柔軟なアイデアで、様々な課題を解決していくことができると期待しています。今後、大学の運営に学生が参画できる機会を増やし、よりよい大学を目指すとともに、地域社会のリーダーとして貢献できる人材を育成します。

学生自治会活動

自治会では様々な活動を通して、在校生や新入生がより良い充実した学生生活を送ることができるように学生主体で取り組んでいます。

例年、新入生に向けたウェルカムパーティーや卒業生・退職される先生方へのプレゼントを用意したり、大学祭などにも携わっています。しかし、昨年に引き続き今年度も新型コロナウィルスの感染が蔓延したことにより様々なイベントを中止せざるを得ない状況となっています。そのような中でも、数少ない活動に対して自治会が一丸となり共に悩み考え、そして成長できたことはとても貴重な経験だと感じます。

令和3年度保健看護学部学生自治会長：西村泰我さん





共に高め合える仲間と共に看護観を磨く

朝木 千愛さん（2年生）



浅井 麻衣さん（3年生）



○志望動機

生まれ育った和歌山の大学で、充実した学びを通じ看護師を目指したいと思ったからです。

また、助産学専攻科があることにも魅力を感じました。

○印象に残っている授業

・教養セミナー

教養セミナーは、数人のグループに別れ、1つの課題から発展させ、話し合うための材料を各自用意し、それを元に話し合いを進めていきます。

様々な知識を得られ、意見交換ができ、カンファレンスの練習にもなります。

教養セミナーは前期と後期にありますが、特に前期では、初めて話をする子もメンバーにいるため、仲良くなれる良い機会です。

○コロナ禍での実習について

・基礎看護実習Ⅰ

私たちの学年は、初めての病院実習が始まる直前に遠隔に切り替わりました。

それまでの学内演習での学びを実際の看護場面で実践できないのはとても残念でした。

しかし、遠隔実習では多くの事例や動画を視聴しカンファレンスを行いました。看護師、患者、家族など色々な視点にたち考え、話し合いを重ねたことで今後の病院実習のための準備ができました。

カンファレンスの力も身につき、本来の実習の形態とは違いましたが、学びを深める良い機会となりました。



生まれ育った和歌山で、保健師として地域医療に貢献したいという夢を実現するため、設備の充実した附属病院や県内のさまざまな施設で実習の経験を積んだ上で、保健師資格の取得も目指すことができるこの大学を選びました。

・授業形態

新型コロナウイルスの影響で、登学できる日が限られてしましましたが、感染状況に応じて曜日ごとに対面講義と遠隔講義を活用しながら、不自由なく学ぶことができています。習得のために実践が欠かせない看護技術についても、登学できる日に演習室で実施でき、知識と技術を身につけられます。また、遠隔講義でも、グループに分かれて学生同士で話し合いをしたり、先生に質問し回答がもらえる機会が十分にとられていましたので、しっかりと学びと考察を深められます。

・演習や実習

実際に看護技術の実践や練習を行う演習や、病棟での実習の際、少人数のグループに分かれて行うので、先生方に質問がしやすく、手厚いサポートが受けられることが魅力です。ひとりひとりの手技をみてアドバイスがもらえるので、確実に上達することができます。実技試験の前には、演習室を借りて練習ができるのですが、その時も先生方がいてくださるので疑問をその場で解決できます。また、演習後や実習後に、同じグループの子と学びの共有をするカンファレンスを行うので、学んだことを整理し、より知識を深められます。

・保健看護学部の魅力

1年生では教養科目が多く、倫理や文化、経済、芸術など、多くの科目から自分の学びたいことを選んで履修することができるため、楽しみながら幅広い知識に触れることができます。試験や実習など、大変なこともありますですが、先生方が優しく、一緒に考えてアドバイスをくれるので、安心して臨めます。また、友達と一緒に同じ目標に向かって励まし合い、高め合えるので、かけがえのない関係性を築けています。



蓬臺 陸さん(4年生)



・臨地実習について

3年9月～4年7月まで、領域別ごとに2～3週間ごとに様々な病棟で実習します。実習前に必要な知識を課題として学習してから実習に臨むため、実際に患者さんを受け持たせていただいても慌てることなく患者さんと関わることができます。自分が担当する患者さんの病態や経過、退院後に望んでいることなどの情報から患者さんのニーズに合わせた看護計画を立案・実践し、指導者さんや担当教員からフィードバックをいただくことで、不足していた視点や良くできた点を振り返ることができ、実習を重ねるごとにより良い看護計画を作成できていると実感できます。

実習は慣れない環境であることや記録が多いこともあり大変ですが、自分が行う看護が患者さんの回復に繋がっていると感じられとてもやりがいがあります。

・余暇の過ごし方

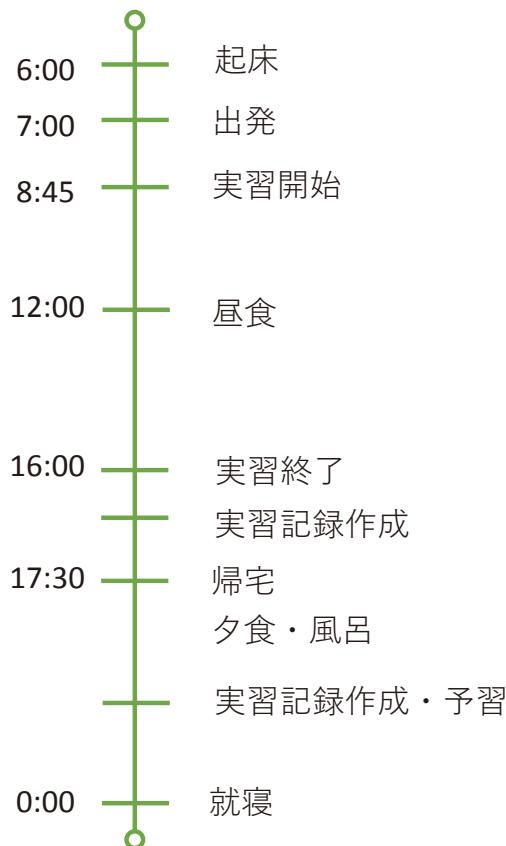
現在は新型コロナウィルスの影響で外へ遊びにいくことが難しくなっていますが、以前は講義終わりにラーメンを食べに行ったり、友人の下宿先に遊びに行くなど講義がある日でも十分に楽しむことができ、充実したキャンパスライフを送ることができます。



私は和歌山県内の就職を希望しており、4年間看護について十分勉強したいと考えたのでこの大学を選びました。

1・2年生では講義や基本的な看護技術について学びます。3年生の後期からは臨地実習が始まり、就職の準備や国家試験に向けての勉強などで忙しくなります。

・タイムスケジュール



・保健看護学部の魅力

和歌山県内では最大級の和歌山県立医科大学附属病院で実習することができるため、多様な疾患を持つ患者さんの看護に関わらせていただけたり、ベテランの実習指導者さんから質の高い看護を学べ、様々な経験と看護技術を習得することができます。これは将来自分が看護師になる上で自身の基盤となるものだと考える所以で、教育体制が整っているこの学部は看護師を目指す方に自信を持って勧めることができます。

・ゼミについて

ゼミでは学生3～4人がそれぞれの教員の元について自分たちで研究するテーマを自由に決め、教員に指導を得ながら研究を行っていきます。そのため、とてもやりがいがあり自分たちの主体性や考える力を養っていると感じます。研究結果がどのようになるのか今からとても楽しみです。



クラブ紹介

- 茶道部
- わくわく子育て部
- ミュージックボランティアクラブ
- 手話サークルmilk
- 軽音楽部
- 美術部
- 音楽研究会
- ESS部
- 予防医学サークル
- 演劇部
- Wakayama Will
(災害ボランティアサークル)
- アカペラ部
- 釣魚部
- 米国医学研究会× USMLE
- 裏千家茶道部
- 華道部
- 文芸部
- 手芸サークル
- ダンスサークルINTACT
- 卓球部
- 柔道部
- バドミントン部
- バレーボール部
- 準硬式野球部
- 合気道部
- 空手道部
- バスケットボール部
- サッカー部
- 陸上競技部
- 剣道部
- ラグビー部
- フットサル部
- 水泳部
- 漕艇部
- 硬式庭球部
- 軟式庭球部
- ヨット部
- スキー・山岳部
- ゴルフ部

一緒に泣いて笑える仲間を作ることができます。



剣道部



Wakayama Will (災害ボランティアサークル)



卓球部



手話サークル



ミュージックボランティアクラブ



ダンスサークルINTACT



バスケットボール部



合気道部



空手道部



バレーボール部



漕艇部



軽音楽部

3学部合同の活動もあり
勉強の合間に楽しんでいます。



社会に羽ばたき自分らしさが花開きます

看護師 坂口 泉未さん (令和2年度卒業生)	和歌山県立医科大学附属病院 勤務 2年目 <p>卒業後、循環器内科病棟で勤務しています。学生時代は試験や実習など忙しい日々もありましたが、友達、先生、先輩、後輩の協力もあり楽しく充実した学生生活を送ることができました。本学は看護師だけでなく保健師の資格も取得できるため、幅広い分野の学習ができます。また、1学年80人程度と少ないことや、医学部と合同の部活動も多いので、縦と横の繋がりが強いことも魅力だと感じます。学生時代に培った知識・技術・縦と横のつながりがあるからこそ、現在看護師として患者さんに日々模索しながら看護を実践できています。</p>
保健師 龜井 瑞生さん (令和元年度卒業生)	御坊市役所 健康福祉課 母子保健係 勤務 3年目 <p>私は大学を卒業後、御坊市役所に約2年勤務しています。主に母子保健を担当し、乳幼児健診や赤ちゃん訪問等、不慣れながら日々勤めています。</p> <p>保健師として経験を積む中で、本職の奥深さをひしひしと感じます。人の行動や考え方は、数日、数ヶ月で変わるものではありません。だからこそ、日々の保健指導や相談業務を通して、対象者が健康でより良い生活、人生を歩めることに繋がった時の嬉しさは例えようもありません。</p> <p>大学では、看護職の先輩でもある先生方が熱心に指導してくださいり、看護学の基礎をしっかりと固めることができます。社会に出てからも学生時代の知識・経験が私を支えてくれています。</p>

進路一覧表

		和歌山県内	和歌山県外
就職	看護師	和歌山県立医科大学附属病院 和歌山県立医科大学附属病院紀北分院 和歌山県立こころの医療センター 海南医療センター 紀南病院 公立那賀病院 国保野上厚生総合病院 国立病院機構和歌山病院 白浜はまゆう病院 日本赤十字社和歌山医療センター 橋本市民病院 南和歌山医療センター 和歌山ろうさい病院 など	大阪医科大学附属病院 大阪公立大学医学部附属病院 大阪大学医学部附属病院 大阪母子医療センター 北野病院 国立循環器病研究センター 堺市立総合医療センター 京都大学医学部附属病院 兵庫県立こども病院 東京大学医学部附属病院 聖路加国際病院 名古屋大学医学部附属病院 など
	保健師	県内市町村 一般社団法人NSメディカル・ヘルスケアサービス など	大阪府・大阪市・堺市・豊中市・貝塚市・泉佐野市・東大阪市・泉南市・田尻町・岬町・京都市・兵庫県・姫路市・奈良県 三菱樹脂株式会社 など
	養護教諭	和歌山県	大阪府
進学		和歌山県立医科大学助産学専攻科 和歌山県立医科大学大学院	神戸市看護大学大学院助産学実践コース 神戸大学大学院 など



保健看護学の未来を担う、高度臨床実践者・教育者・研究者を育成します。

学部での学びをさらに発展させます

教育課程	博士前期課程保健看護学専攻		博士後期課程 保健看護学専攻
	論文コース	がん看護専門看護師 コース	
教育理念	<p>広い視野と高邁な倫理観に立ち、人間の尊厳を重視する保健看護学の教育・研究を進め、保健・介護・福祉に対するニーズに先駆的に対応し、健康に関係する様々な分野相互の連携の重要性が理解できる資質の高い保健看護職者と健康関連専門職者を育成する。</p> <p>また、本学保健看護学部の使命である「地域に根ざした保健看護学の考究」の推進者として、地域の人々の健康の保持増進、疾病・障害に伴う諸問題を含め、倫理的・科学的な研究に対する意欲をもち、自律して質の高い計画を立案・実行し、社会のニーズに柔軟かつ豊かに対応することができる健康づくりに関わる専門職業人として能力の向上をめざす。</p>		広い視野と高邁な倫理観に立て、人間の尊厳を重視する保健看護学の教育・研究を進め、保健・医療に対するニーズに先駆的に対応し、健康に関係する様々な分野における健康づくりに寄与できる教育・研究者を育成し、地域における人々の健康に貢献する。
アドミッション ポリシー	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保健看護学分野における専門性を高めるための研究に意欲をもつ人 2. 保健看護学以外の領域で学んだ知識と技能を保健看護学の研究へ応用、発展しようとする人 3. 本課程で学ぶ知識と技能を医療や医療以外の領域へ応用、発展しようとする人 4. 地域医療への貢献を研究的視点にもつ人 		<ol style="list-style-type: none"> 1. 保健看護学に関する高い関心と研究への強い意欲をもつ人 2. 保健看護学の発展と社会福祉の向上に熱意をもつ人 3. 保健看護学への貢献を研究的視点にもつ人 4. 保健看護学の専門職業人として、高度な専門知識の更新、リカレント教育に取り組もうとしている人
専攻領域	<input type="radio"/> 健康科学領域 <input type="radio"/> 基盤看護学領域 <input type="radio"/> 生活・地域保健学領域	<input type="radio"/> 基盤看護学領域がん 看護学	<input type="radio"/> 生涯保健看護学領域 <input type="radio"/> 地域保健看護学領域
選抜方法	<input type="radio"/> 一般選抜 <input type="radio"/> 社会人選抜	<input type="radio"/> 一般選抜 <input type="radio"/> 社会人選抜	<input type="radio"/> 一般選抜 <input type="radio"/> 社会人選抜
入学試験	一般選抜、社会人選抜ともに英語、専門科目、面接を行う		
入学定員	12名		3名
修業年限 ^(*)	2年	3年 (長期履修制度利用)	3年
取得できる 学位・資格	修士（保健看護学）	修士（保健看護学） がん看護専門看護師 認定審査受験資格	博士（保健看護学）
学生支援	日本学生支援機構による奨学金制度（社会人は申請できません。）		

(*) 長期履修制度あり



博士前期課程（修士課程）

健康科学領域

身体的、精神的、社会的側面から「健康」をとらえ、関連する諸科学において学際的に探求する領域

専攻分野

- 健康増進学
- 運動器疼痛リサーチ & マネジメント学
- メンタルヘルス学
- 社会予防医学
- 対人援助コミュニケーション学

基盤看護学領域

看護学の専門性に対応した看護学各分野における実践者、研究者、教育者の育成を目指す領域

専攻分野

- 基礎看護学
- 高齢者看護学
- 慢性看護学
- 急性看護学
- がん看護学

生活・地域保健学領域

家庭、地域、職域等、人々の生活の場における健康づくりのプロフェッショナルを育成する領域専攻分野

専攻分野

- 母性保健学
- 小児保健学
- 地域看護学
- 在宅ケア看護学
- 環境保健学

授業科目

■共通科目（必修）

論文コース、がん看護専門看護師コース共通

- ・保健看護学研究法
- ・英語文献講読
- ・保健看護情報統計学

論文コース

- ・特別研究

がん看護専門看護師コース（必修）

- ・臨床薬理学・フィジカルアセスメント
- ・病態生理学・課題研究

■共通科目（選択）

論文コース、がん看護専門看護師コース共通

- ・ヘルスケアエシックス・保健看護学概論
- ・健康マネジメント政策論・看護教育論・看護管理論
- ・看護理論・コンサルテーション論・健康測定評価論
- ・健康栄養学・家族看護学・医療と法

論文コース

- ・臨床薬理学・フィジカルアセスメント・病態生理学

■健康科学領域

- ・健康増進学特論
- ・健康増進学演習
- ・運動器疼痛リサーチ & マネジメント学特論
- ・運動器疼痛リサーチ & マネジメント学演習
- ・メンタルヘルス学特論
- ・メンタルヘルス学演習
- ・社会予防医学特論
- ・社会予防医学演習
- ・対人援助コミュニケーション学特論
- ・対人援助コミュニケーション学演習

■基盤看護学領域

- ・基礎看護学特論
- ・基礎看護学演習
- ・高齢者看護学特論
- ・高齢者看護学演習
- ・慢性看護学特論
- ・慢性看護学演習
- ・急性看護学特論
- ・急性看護学演習
- ・がん看護学特論
- ・がん看護学演習
- ・がん看護学特論 I ・ II ・ III *
- ・がん看護学実習 *
- ・がんリハビリテーション看護 A・B *
- ・緩和ケア A・B *

■生活・地域保健学領域

- ・母性保健学特論
- ・母性保健学演習
- ・小児保健学特論
- ・小児保健学演習
- ・地域看護学特論
- ・地域看護学演習
- ・在宅ケア看護学特論
- ・在宅ケア看護学演習
- ・環境保健学特論
- ・環境保健学演習

*がん看護専門看護師コース必修

博士後期課程（修士課程）

生涯保健看護学領域

- 母子保健看護学
- 成人期保健看護学
- 高齢期保健看護学

地域保健看護学領域

- 地域保健看護学

授業科目

■共通科目（必修）

- ・保健看護学研究法
- ・後期特別研究

■共通科目（選択）

- ・健康管理論
- ・生活支援看護学

■生涯保健看護学領域

- ・母子保健看護学特論
- ・成人期保健看護学特論
- ・高齢期保健看護学特論

■地域保健看護学領域

- ・地域保健看護学特論



大学院生メッセージ



陳 永輝さん（博士前期課程2年生）

「学ぶことによって、自分を磨きながら、生活を楽しんでいきましょう！」

私は、5年の看護臨床経験を経た後、大学院へ進学しました。きっかけとしては、勤務していた病棟において、多くの患者は認知症に罹っている高齢者であり、日常と同じことを言い繰り返し、暴言・暴力、昼夜逆転などの症状を表し、看護や治療などを拒否し、私たちの仕事がとても大変であることを深く感じました。また、「なぜこういう症状があるのか」、「どのように対応するのか」という疑問があり、継続的な勉強、研究の必要性をとても感じました。今、先生の指導下、幅広い視点で看護を見直し、高齢者のより高い生活の質を維持または改善する課題を研究しながら、院生の生活を楽しんでいます。今後、大学院の学習により、教育能力と研究能力を身につけた私は、看護教員として学生や後進者に正しく教えながら、自分の研究で、社会に貢献したいと考えています。

松岡 晃子さん（博士前期課程2年生）

「仲間とのディスカッションで楽しく学びを深めていきましょう！」

私は様々な診療科の臨床経験を経て、がん看護専門看護師コースに進学しました。がん患者さんが抱える悩みは年々多様化、複雑化してきているので、これまでの経験だけでは解決できないことも多く、その悩みに少しでも答えられるようになりたいと思い進学を決意しました。

仕事しながらの通学は大変ですが、同じ志を持った仲間とのディスカッションは本当に楽しく、学びを深めることができます。また、大学院で学んだことをすぐに実践に繋げられることが出来るので、この大学を選んで良かったと思っています。



堀内 美佐さん（博士前期課程2年生）

「仕事との両立も可能です！学ぶことを楽しみましょう！」

私は保健師として長年行政機関で勤務し、保健医療福祉の各分野の業務を経験する中で、現場の課題と向き合ために学びの必要性を感じて進学しました。仕事を続けながらの学生生活は多忙ですが、日頃接点のない年代の方や医療現場の方と一緒に学び、異なる視点に触れるることは、よい刺激となり活力をいただいています。今後の保健医療行政や地域保健活動の実践に貢献することを目指して、仲間とともに頑張りたいと思います。

特別研究修士論文発表会 /





女性の主体性を尊重し、安全で質の高い助産ケアができる専門職を育成します。
また、人との出会いとふれあいを大切にした教育を目指します。

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

和歌山県立医科大学助産学専攻科では大学の教育理念に基づき次のような人を求めています。

- 科学的探究心と豊かな人間性・高邁な倫理観を希求する人
- 助産学を修得するための幅広い能力を有する人
- コミュニケーション能力を備えた協調性の高い人
- 地域母子保健に関心があり、国際的視野を希求する人
- 生涯にわたって自立と自律をめざす人

カリキュラム・ポリシー（教育課程方針）

教育課程は「基礎領域」「実践領域」「関連領域」の3領域

で構成しています。

- 基礎領域では、助産師の役割や助産業務の遂行に必要な生命倫理、子どもの健やかな成長発達支援のための理論や支援方法に基づいた教育
- 実践領域では、助産診断・技術学を中心に講義や演習によって妊娠褥婦・新生児の健康状態を診断しケアを計画し実践できる教育、また助産師による地域母子支援及び関係機関との連携する力を獲得できる教育
- 関連領域では、助産学研究や助産学に対する課題解決力や医療職として生涯にわたって自己研鑽力を身につける教育、及び母子保健を国際的な視点でとらえ、幅広く活動できる人材を育成する教育

ディプロマ・ポリシー（修了証書授与方針）

和歌山県立医科大学助産学専攻科は所定の単位を修得し、以下の能力を獲得した者に修了証書を授与します。

- 助産師として高い倫理観を基盤として、対象を理解し尊重することができる
- 妊娠・分娩・産褥経過および新生児期において診断できる能力を備え、正常からの逸脱を判断し異常を予測したケアを提供することができる
- 女性の一生における性と生殖に関する健康課題に対して、支援するための基礎的能力として知識・技術・コミュニケーション力を有している
- 国際的視野を持ち、保健・医療・福祉・行政との連携を図り、協働して地域社会に貢献することができる
- 知的好奇心を持ち生涯を通じて自己研鑽することができる

修業年限 1年

入学定員 10名

実習施設

【病院】

独立行政法人労働者健康安全機構和歌山ろうさい病院

ひだか病院

紀南病院

和歌山県立医科大学附属病院

【助産院】

岡本助産院

ちひろ助産院

むとう助産院

授業科目一覧

授業科目	単位数		修了要件
	必修	選択	
基礎領域	助産学概論	1	必修 34単位 選択 1単位以上
	妊娠期の異常	1	
	分娩・産褥・新生児期の異常	1	
	生殖医療と生命倫理	1	
	親子関係発達論	1	
実践領域	母子の栄養学	1	必修 34単位 選択 1単位以上
	助産診断・技術学Ⅰ(妊婦)	2	
	助産診断・技術学Ⅱ(産婦)	2	
	助産診断・技術学Ⅲ(母子)	2	
	助産診断・技術学Ⅳ(思春期・更年期・老年期)	1	
	子育て支援論	1	
	健康科学教育論	1	
	助産管理	2	
	成育医療	1	
	助産学実習	12	
関連領域	助産管理実習	1	必修 34単位 選択 1単位以上
	産科救急・新生児蘇生法	1	
	助産学研究	1	
	周産期のメンタルヘルス	1	
	アクティブラースへのケア	1	
	助産師と国際活動	1	
合 計		34	2
			35単位以上





主な年間スケジュール

4月 入学式、オリエンテーション
前期講義、演習

5月 講義、演習

6月 地域母子保健



新生児蘇生法トレーニング

7月 助産技術試験、前期試験
オープンキャンパス

8月 夏期休業（実習準備）



分娩介助練習

9月 助産学実習（9月～11月末）
・分娩介助
・継続事例への助産ケア及び1ヵ月健診
・保健指導など

10月

11月

12月 助産管理実習
実習報告会
冬期休業



母親学級の学内発表

1月 助産学研究発表会（事例）
後期講義
後期試験

2月 国家試験受験
入職前演習（教科外プログラム）

3月 修了式



ベビーマッサージ



助産学専攻科修了生メッセージ

助産師 地元 美月さん (令和2年度修了生)

和歌山県立医科大学附属病院 勤務2年目

助産学専攻科では、講義・演習・臨地実習・研究・国家試験を1年間で実施しなければなりません。大変なことも多いですが、その分学ぶ事も多く、とても充実した毎日を過ごすことができました。

新型コロナウイルス感染症の影響で多くの講義はリモートで実施されました。入学してすぐに助産学の専門的な講義が始まりましたが、学生9名に対して4名の先生方がいますので、分からぬ部分は丁寧に教えてもらう事ができました。

また、夏休みが終わると臨地実習が始まります。実習では、産婦さんへの関わり方などに悩み、自分自身の未熟さを感じました。しかし、産婦さんから「一緒に居てくれてよかった」と声を掛けてもらったり、学生として少しずつできることが増えると、やりがいを感じて頑張ろうと思えました。実習は3ヶ月間と短いですが、私にとって一番成長できた期間だったと思います。

本学への皆さんの入学を応援しています。



助産師 早川 雅乃さん (平成28年度修了生)

和歌山県立医科大学附属病院 勤務6年目



わたしは助産学専攻科を卒業し、現在は和歌山県立医科大学附属病院総合周産期母子医療センターで働いています。

助産学専攻科での1年間は毎日大変でしたが、わたしの助産師としての基礎が築け、同じ目標を持ったかけがえのない仲間に出会えた大切な1年でした。授業はグループワークが多く、学生間でのコミュニケーションや協力する大切さを学びました。その経験は、多くの方と関わる現在の現場で活かすことができていると感じています。

働き始めて6年目となります。自分が妊婦健診や保健指導で関わった妊婦さんの出産に立ち会え、赤ちゃんと共に笑顔で退院していく姿を見送るときに、あらためて助産師の仕事にやりがいを感じます。

和歌山県立医科大学助産学専攻科で、皆さんのが夢に向かって充実した学生生活が送れることを願っています。

助産学専攻科修了後の主な就職先

- 和歌山県立医科大学附属病院
- 紀南病院
- 和歌山ろうさい病院
- 大阪公立大学医学部附属病院
- 大阪市立総合医療センター
- 堺市立総合医療センター
- 社会福祉法人石井記念愛染園附属愛染橋病院
- 宇治徳洲会病院
- 京都大学医学部附属病院
- 加古川中央市民病院
- 滋賀医科大学医学部附属病院
- 名古屋市立大学病院



入学金等（令和3年度）

	保健看護学部		大学院保健看護学研究科		助産学専攻科	
入学検定料	17,000円		30,000円		18,000円	
入学金	県内生	282,000円	博士前期課程	282,000円	県内生 (学内生含む)	169,200円
	県外生	423,000円	博士後期課程	282,000円	県外生	253,800円
授業料 (5月と11月に分納)	535,800円		535,800円		535,800円	

授業料等減免制度

経済的理由によって授業料等の納付が困難であり、かつ学業成績が優秀であると認められる者を対象に、授業料等の全額もしくは一部が免除される場合があります。

*希望する場合は、保健看護学部事務室に相談してください。

奨学金

- 日本学生支援機構
- 和歌山県立医科大学修学奨学金
- その他

*本学は、「大学等における修学の支援に関する法律」に基づく高等教育の修学支援新制度の対象機関（確認大学）です。

表彰制度

他の学生の模範となる学生を卒業時に表彰します。

- 知事賞／成績優秀者を表彰
- 学長賞／成績優良で他の模範となる学生を表彰

きめ細かな学生サポート体制

オフィスアワー

学生のための時間を全教員が週に一度設け、学習指導や学生生活での相談などを受け、学生がきめ細やかな助言・指導を受けられる環境を提供しています。

カウンセリング

週に一度、外部のカウンセラーによるカウンセリングを開設しています。学習面や進路のことなど気軽に相談できます。

担任制

保健看護学部は、4年間の学生生活を担任教員がサポートします。自分のことをよく知ってくれている教員がいるので安心です。

大学図書館

本学には、紀三井寺キャンパスに紀三井寺館、三葛キャンパスに三葛館、伏虎キャンパスには伏虎館という三つの大学図書館があり、学生は全ての図書館を利用できます。

保健看護学部がある三葛キャンパスに位置する三葛館は、約64,000冊の図書やCD・DVDなどの視聴覚資料、約1,000種類の学術雑誌を所蔵しているほか、学習や研究に必要な文献などを探すためのデータベースや電子ジャーナル、電子ブックなどの電子リソースも利用でき、新しい知識を得るために環境が整っています。

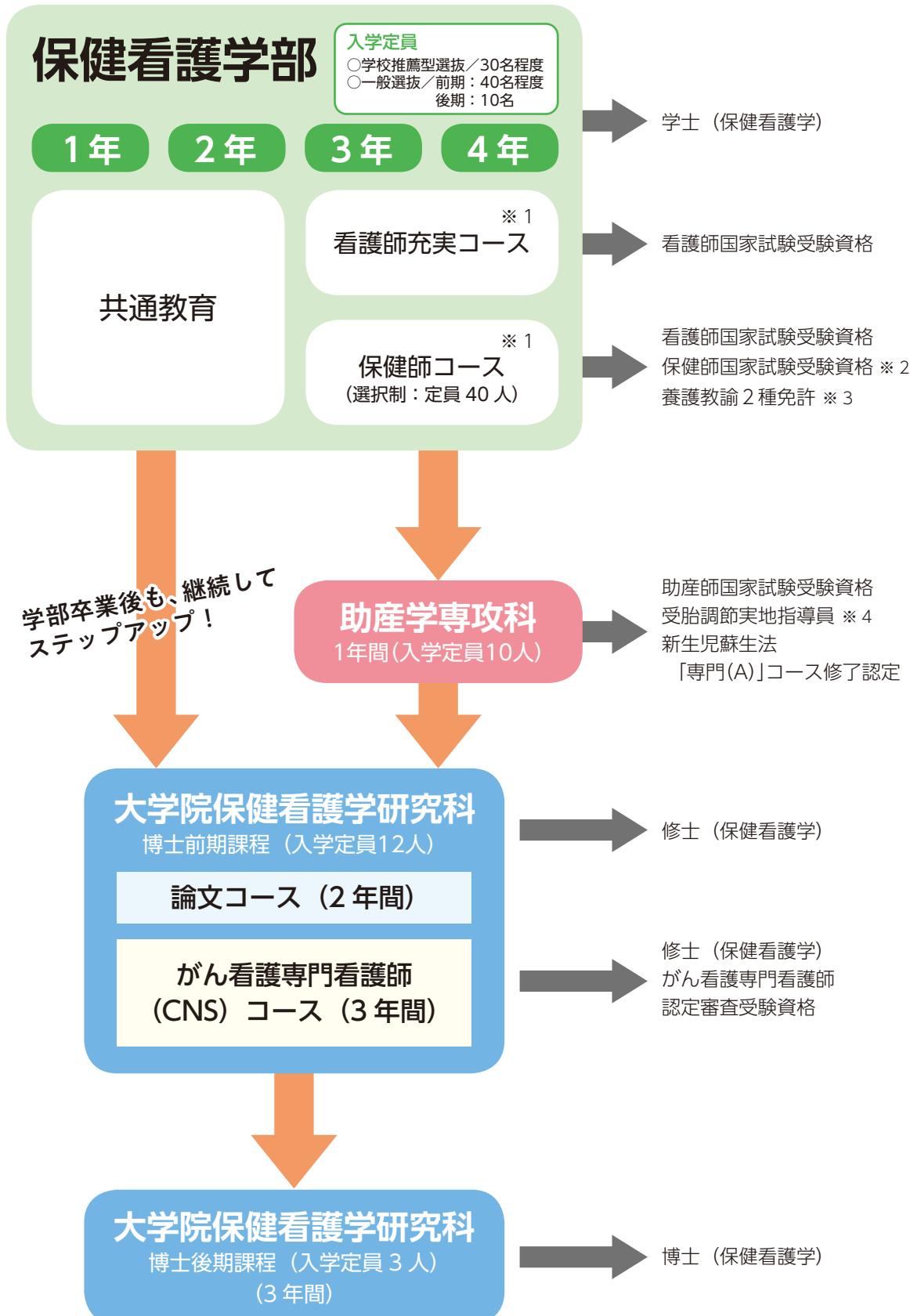
図書館三葛館ウェブサイト：

<https://opac.wakayama-med.ac.jp/drupal/mikazura>





学位・資格取得によるキャリアアップを支援します





山や海に囲まれた自然豊かな和歌山で保健看護学を通して自分の可能性を広げよう



看護実習室



図書館

① 管理・校舎棟

② 図書館棟

③ 体育館棟

④ 研究棟

⑤ 医学部三葛教育棟



大学生協



体育館



学生ホール・食堂



大講義室



- 天王寺～和歌山駅 JR阪和線（快速）約1時間
- JR紀三井寺駅下車 東口より 徒歩約10分
- JR和歌山駅より和歌山バス三葛停留所下車 徒歩約10分
- 阪和自動車道 和歌山南SICより 車約10分



公立大学法人
和歌山県立医科大学保健看護学部
大学院保健看護学研究科
助産学専攻科

〒 641-0011 和歌山市三葛 580 番地 TEL 073-446-6700 FAX 073-446-6720
<http://www.wakayama-med.ac.jp/dept/hokenkango/index.html>